

就任にあたって

市長 米本弥一郎



皆様には我慢ばかりお願いしていますが、市民一丸となつて新型コロナウイルスを乗り越えましょう。

これまで私は7年余り、市議会議員として市政に携わってきました。今は市の責任者という立場になり、その重責に肅然たる思いがします。

これからは私が掲げる「旭中央病院を核とした医療・福祉・健康づくりの充実」「国内屈指の1次産業をしっかりと守り・育てる」「旭市の魅力を全国に発信する」といった3つの柱と、それらを実現するための6つのまちづくり方針を着実に進めてまいります。まずはコロナ対策であります。1日も早く希望する皆様へのワクチン接種を完了させ、3回目接種への体制を整えてまいります。また、議会の皆様のご賛同をいただき、コロナで打撃を受けている事業者の方々への給付や、小中学生の給食費

免除などを決定しました。今後さらなる支援を計画してまいります。

2つめに、多くの市民参画の機会を設け、対話による開かれた市政とします。3つめに、子どもが健やかに成長し、高齢者が豊かに過ごせるよう暮らしと経済の安心を守ります。

4つめに、医療や教育環境を充実させ、誰もが住みたくなくなるまちづくりをします。5つめは、豊かな旭を次世代につなげていくため、SDGsを明記する総合戦略の見直しなどにより、持続可能なまちづくりを推進します。6つめに、銚子連絡道路の早期開通や広域連携での観光振興など、東総地域全体の発展を目指します。

地域の中核として、非常に大きなポテンシャルを持つ旭市。この魅力ある旭市がさらなる発展を遂げるため、改めて皆様のお力添えをお願い申し上げます。